

タンポポの会だより(第28号)

2012/2/15発行 タンポポの会事務局

「絆」を大事に、有意義な人生を！

皆さん、ご健勝で新年を迎えられたことと存じます。本年も宜しくお願い申し上げます。昨年東北大地震、福島原発事故で明け暮れた1年でした。デフレ経済、EU諸国の経済破綻、独裁国家の崩壊、民主化の波は宗教問題も絡み専門家も予測できない状況です。これから老後を楽しく生きようとする私達にも対岸の火事ではなく、重くのしかかっています。また、年金引き下げ、医療費負担の増、消費税増等など、安心できる材料も見い出せません。こうした中で、昨年は「絆」という言葉、文字が内外を問わず話題になり、考えさせられ、周りを見直すきっかけになりました。親子兄弟、親戚、近所と元会社の仲間を思わずにはいられません。良い環境下では振り向かない、気にする事もなかった経験や友情、付き合いをお互い確かめ合う、こうした機会は色々違う悩み、健康や趣味などを持ち寄る場が数多く出来ればと考えます。

(当然、新たな出逢いも、触れ合いも大事にしながら)

どうか、3月24日の17回定時総会も間近です。皆さんの元気な顔を拝見、歓談出来ることを楽しみに、是非多くの参加を頂くようご案内申し上げます。

(タンポポの会会長 菅原 昭)

泌尿器科の近況(Ⅰ)・・・みなさんこんにちは。

平成23年4月から勤務しております「島 崇」です。以前にも当病院での勤務経験があり、二度目の赴任となります。

以前に赴任していた時分よりも泌尿器科経験年数が増え、実力も伴うべきですが、まだまだ至らない点が多く「男子三日会わざれば・・・」を胸に日々研鑽しております。

泌尿器科医師として患者さんの信頼を得られるよう精進いたしますので、宜しくお願いします。

(厚生連・高岡病院 泌尿器科 島 崇)

泌尿器科の近況(Ⅱ)・・・外来スタッフ体制

診療部長 池田大助先生以下、4人で外来診療・手術を担当しています。

また、大学のスタッフの応援診療で外来検査も行っています。

また、 stomacher 外来専門で開 皮膚排泄ケア認定看護師が木曜日午後泌尿器科にて相談(予約必要)に乗りますので、お困りの時はお出かけください。

(泌尿器科・外来)

総合的がん相談支援センター・・・「がん相談支援室」

がん相談支援室は、厚生連・高岡病院 の窓口として、タンポポの会の活動のお手伝いをさせていただきます。(専用FAX 0766-24-9517)

がん相談支援室は、がんに関する質問や相談にお応えし、がんの診断や治療こと、生活のことについて、もっと知りたい時や不安でたまらない時など、ぜひお越しく下さい。お電話でも構いません。どんな些細な事でも、一緒に考えて、知りたい事をさがすお手伝いをします。気軽にご相談ください。(もちろん無料です。)

(がん相談支援室)

タンポポの会・第17回総会のご案内

日時 3月24日(土)午前10時00分～11時45分

会場 厚生連・高岡病院 2F研修室(Ⅰ)

- 議題 ①23年度活動と収支決算報告・・・(監査報告あり)
②24年度活動計画と予算案
③役員改選・その他

「講演」・・・JR・平行在来線対策について。

富山県庁 総合交通政策室



(出前県庁しごと談義)

「日帰り旅行」の報告

日時 10月22日(土) 9時15分～16時00分頃

行き先 氷見民宿「與市郎」と レトロな「氷見昭和館」

当日は 小雨模様で始まりましたが参加者14人で、氷見温泉民宿”おもてなしの宿”「與市郎」へ向かいました。 途中で懐かしいレトロな「氷見昭和館」(平成24年4月開館、9時から19時、毎週火曜日休館、氷見市柳田526-1、0766-91-4000)に寄り、ほっとした一時を過ごし、皆さん元気を取り戻した楽しい日帰りでした！

「タンポポの会」の日帰り研修に参加して

朝から生憎の小雨模様で始まり、雨男は？雨女は誰かしら？などと思いながら氷見民宿へ。氷見の海はお天気の影響を受けて鈍く鉛色に光っていました。一旦は民宿「與市郎」に着いた後、10時過ぎに民宿のバスに乗せて頂きレトロな「氷見昭和館」に着きました。

館内は昭和の雰囲気「ミニ古民家」があり「似顔絵師・苦楽多みきよし」が似顔絵を書くかたわら収集した、昭和のレトロな品々が至る所に展示されていて、コーヒーなどを飲み乍ら、昭和のなつかしいラジオ放送やジュークボックスに耳を傾ければ、もうそこは昭和時代にタイムスリップ！！そんな仮想空間でゆったりとした、安らぎの時間を過ごせるお店を目指していますとのこと、裕次郎の「赤いハンカチ」や坂本九の「上を向いて歩こう」など、氷の冷蔵庫や手廻しの洗濯機、キンチョール、仁丹の看板やダッコちゃん、ブリキの自動車等など、ファンにとってはたまらない空間でした。一刻若い頃の自分が重なり、とっておきサタデーとなりました。お昼も昼食も、氷見のキトキト御馳走に舌つづみを打ち、満ち足りた気持ちで帰途に着きましたが、あの昭和の時代、ベレー帽にステッキと、颯爽と歩いていたお洒落な父のことが思い出され、胸を熱くしました。

”迂闊(うかつ)にも なまこぼして 父恋し”

(越 すみ子)

※「北日本文芸年間賞の俳句」(平成23年12月28日・北日本新聞・掲載記事から) 会員の小矢部市・平田清信さん(俳号;越雨)の俳句が「佳作」となりました。

”病院の 窓の月見も それなりに”

(選)作者の個性や暮らしぶりが見えてくる、誰しもが思うことを素直に詠んだ句でした。

※産経新聞「紙上ギャラリー」(平成23年10月19日・産経新聞・掲載記事から) 会員の越 すみ子さんの俳句が10句が入選されました。

”節分や 醗酵室のある家に 醗酵室の鬼”

”納豆の菌 撒きてより はるの雪”

”朝露を ゆっくり弾く 醗酵室の湯気”

”鰯雲 醗酵室の温度を 朱でしるす”

(選)納豆を作って独自の視点と発想が新鮮な句で唯一無二の存在感が光ります。

※慶弔関係

昨年10月に 高辻善三さんが、更に11月 村上誠三さんが亡くなりました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

編集後記

年3回(1月・5月・9月)発行をめざしていますので、会員各位の投稿が増えて「タンポポだより」が賑やかになるように、皆さんの投稿協力をお願いします。次の29号は5月末発行で5月5日締切です。リクエストで新コーナーを設けますので(仲間と集う・ちょっと一言・話題の窓・私の夢・・・)泌尿器科の外来窓口へご一報ください。(タンポポの会事務局)

※「タンポポの会」は次記の皆様からのご支援を受けています。

(募 集 中)

(募 集 中)